新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、ご家族の皆様、本日は誠におめでとう ございます。文学部の教職員を代表致しまして心よりお慶び申し上げます。

さて、文学部・文学研究科とは何を学ぶところでしょうか。文学とは自然科学と対比し、史学、社会学、哲学、心理学、宗教学、言語学、および文学作品の研究と狭義されることもありますが、諸学全般を指し学問を表す広義な言葉でもあります。文学部には、日本文学科、英語英米文学科、文化財学科、ドキュメンテーション学科があり、文学研究科には、日本文学専攻、英米文学専攻、文化財学専攻、ドキュメンテーション専攻があります。ここでは、社会人として必須な教養と現代社会の課題を解決する専門的な知識と能力を身につけます。本学には学びの基礎を築く図書や雑誌の学術文献をはじめ古典籍等の貴重書を豊富に所蔵する図書館があります。マイクロソフトの創業者でありパーソナルコンピュータを創造した人物でもあるビル・ゲイツは読書の効用を次のように述べています。

I really had a lot of dreams when I was a kid, and I think a great deal of that grew out of the fact that I had a chance to read a lot. Bill Gates

若い時に多くの夢を抱いていました。今思えば、沢山の本と出会える機会に恵まれたから育まれたのでしょう。ビル・ゲイツ(筆者訳)

図書館を大いに活用して、夢を育んでください。しかし、闇雲に読書で知識を得るだけでは不 十分です。夢を叶えるには、深い考察力と実行力も必要です。儒学・儒教思想の祖である孔子の 述べた言葉を編纂した『論語』には、次の教えがあります。

子曰 学而不思則罔 思而不学則殆 孔子

子曰く、学びて思わざれば則ち罔し、思いて学ばざれば則ち殆(あやう)し。孔子

教えられたことをただ学び書を読むだけで、さらに深く思索をしなければ身に付かず、また考えるだけで人や書から学ばなければ、独断に陥る危険があることを諭しています。知識は物事を思索するための重要な要素ですが、歴史を読み解き現実社会を観察し事象から学ぶことも学問の修得に必須です。学問とは事象の検証に基づいた真理の探究に他なりません。

令和2年度から新型コロナウイルスの感染症拡大により多数の授業がオンラインとなり、令和3年度は感染状況に応じて対面授業が復活しました。令和4年度は通学を前提とする対面を基本とし、併せて授業の内容等によりオンライン授業も実施する方針です。どんなに困難な状況下であっても工夫して学修や研究を継続することが重要です。

最後に、自然界の法則の解明に貢献した科学者であるアルベルト・アインシュタインの言葉を 皆さんに送ります。

Learn from yesterday, live for today, hope for tomorrow. The important thing is not to stop questioning. Albert Einstein

過去から学び、今を生き、未来に希望をつなげよう。とても大切なのは、探究 (学び) をやめないことです。アルベルト・アインシュタイン (筆者訳)

文学部および文学研究科に入学される皆さんには、正課の学修やクラブ・同好会等の課外の活動に加え、地域社会の多様な場で自己の知識や能力を十分に発揮し活躍されることを期待します。皆さんの輝かしい将来のため、充実した学生生活を過ごされることを祈念し入学の祝辞とさせていただきます。

令和4年4月5日 文学研究科長·文学部長 角田 裕之